

進路だより

〈第3号〉

令和4年6月22日発行

須賀川創英館高等学校進路指導部

進路講演会

6月2日に3年生を対象とした進路講演会が行われました。ライセンスアカデミーの方から、進路選択に関するお話をいただきました。1・2年生も、卒業後の進路を今から考えておくことをお勧めします。

《就職》

就職とは、仕事に就くこと=人の役に立ってお金をいただくこと

仕事選びは、好き嫌いも大切だが向き不向きの方が重要
↓ だから……

どんな仕事に向いているか、何が好きか常々考える。(周囲に聞いておくとよい)

※ 会社に入ることを目指してはダメ!

《進学》

将来の仕事に向けて逆算して学ぶ

可能な限り、オープンキャンパスに行く。HPだけでは情報が浅い。

- ・専門学校…仕事に直結するもの
- ・大学…学びたいものを学ぶ・深掘りする

※ 推薦入学でも、必ず入るとは限らない!



進路ガイダンス実施

6月9日には、進路希望別に分かれての模擬面接指導が行われました。大学や専門学校などから講師の方をお招きし、面接の心構えやアドバイスを聞いたり、実際に模擬面接を受けたりしました。3年生は、一様に緊張した面持ちでしたが、真剣に話を聞く様子が見られました。もちろん、面接練習は何度も行う必要がありますので、ギリギリになって焦らないように、早めに練習計画を立てましょう。



求人票公開間近

今年度の求人票公開に伴い、本校にはたくさんの企業の方々が例年来校されます。「須賀川創英館高校の生徒をぜひ採用したい」と思っていたきたいものですね。大きな声での挨拶、きまりを守った服装頭髪、掃除の徹底された校舎など、良い印象をもっていただく場面は多くあると思います。日頃から心がけておきましょう。また、進路室前の廊下は静かに通るようご協力ください。

今年度の採用傾向 (進路アドバイザー：結城さんより)

7月1日以降に3年生の就職希望生徒への求人票が公開されます。同時に、各企業による学校への求人申込み及び学校訪問が始まります。今の就職活動はかつてないほど厳しい状況ですが、正しいやり方で取り組めば、やった分だけ努力が報われるようになっています。就職活動の正しい進め方を知り、実行していけば、必ず満足いく活動ができるはずです。

就職活動において自己分析は最重要!

全ての勝負事は状況把握が肝心です。就職先の会社は敵ではありませんが、就活においてどんな会社かを知ることは当然必要になってきます。しかし、会社を知る前に、自分がどんな人間かということを知ることが大切です。就職活動では、自分の考えや強みなどをエントリーシートや面接でわかりやすく相手に伝えなくてはなりません。自己分析をする作業は大変なことではありますが、自己分析がきちんとできていれば就職活動が驚くほどスムーズになっていきます。

◆ 自己分析には4つのメリットがあります。

- ① 自分の価値観がわかる。
- ② 自分の強み・弱みが把握できる。
- ③ 企業選びの基準ができる。
- ④ 就職活動の焦りがなくなる。



進学情報

大学や専門学校などからパンフレットやオープンキャンパスの案内、学校推薦型選抜や一般選抜などの入試要項が次々と届いています。推薦入試の場合、学科試験の代わりに小論文を課す学校が多く見られるので、今から自分が専攻したい分野のニュースや話題を調べたり、関係する本を読んだりしておきましょう。中には、小論文のみ事前提出という学校もありますので、入試の情報をよく確認しておくようにしてください。指定校推薦は、出願期間が11月ごろ、試験が11月下旬ごろという学校が多いので、3年生は2学期に入ると出願の準備で慌ただしくなります。落ち着いて本を読んだり調べものをしたりするのは夏休み中までだと考えてください。また、推薦入試では「志望の理由」を明確に示すことが求められます。目的意識の高さが合否を左右する重要なポイントです。自分の言葉で明確に表現できるように、早めの準備を始めましょう。

進路希望調査

本校の進路希望調査の集計結果です。進学希望の人が多いことがわかります。

	大学	短大	専門学校	就職	未定
1年	49人	15人	59人	28人	40人
2年	48人	18人	72人	42人	14人
3年	58人	22人	57人	72人	4人

